

平成30年度第3回市民参加推進・評価会議 会議要旨

1 日時	平成30年8月6日(月) 午後4時00分～5時15分
2 場所	大和市役所 会議室棟202会議室
3 出席者	委員6人(田邊 誠 委員(会長)、青木 俊介 委員、岩本 翠 委員、 小室 三枝子 委員、徳留 佳之 委員、中丸 ちづ子 委員) 事務局2人(政策総務課長他1人)
4 傍聴人数	0人
5 議題	(1)平成29年度市民参加手続の実施状況に対する総合評価について (2)その他
6 議事要旨	・前回までの審議内容をもとに事務局にて作成した答申案について、事務局から説明を行った。 ・事務局からの説明の後、意見交換を行った。
7 会議資料	・【訂正】資料2：平成29年度審議会等委員の公募状況 ・平成29年度市民参加手続の実施状況に対する総合評価について(答申案)

主な質疑等：

- 委員： 答申案では、公募委員については前年度と同様の応募があったようだが、その前の年度の状況はどうか。
- 事務局： 平成27年度は19の公募を実施し、ほとんどの審議会等で募集の人数以上の応募があった(公募人数を下回ったのは3)。
- 委員： 「ほぼ同様の応募状況」と言えるのか。下がっているのではないか。
- 委員： 各審議会等の内容も異なるので、数だけでの判断はできないのではないか。
- 事務局： 平成27年度は、4施設の指定管理者選定委員会の公募においてある程度の応募があったが、平成29年度は3施設の指定管理者選定委員会の公募に対し、応募者がいなかったという状況である。答申案にも記載しているが、様々なテーマを議論する審議会とは異なり、指定管理者選定委員会は、公の施設の管理者として適切な者を選定するもので、公正、慎重な選考を行うために市民公募を行っているが、結果として応募者がなかった。
- 委員： 最近は様々な施設が指定管理になっているが、指定管理者制度そのものが市民にとってわかりづらいのではないか。
- 委員： 指定管理の施設では、指定管理者と市のどちらに意見を言えばいいのかわからないときがある。
- 委員： 答申案の後段では、「今後も市民参加を推進する意識を持ち」とあるが、意識しているというだけでなく、もっとしっかりとした表現としたい。
- 会長： 同感である。「市民の声を市政に反映させるよう努める」ことを求める内容としたい。

- 委員： 指定管理者の案件で市民参加が進むように、何が記述を加えてはどうか。
- 委員： 指定管理者選定委員会は、その他の審議会とは内容が異なるかもしれないが、指定管理者自体のあり方について関心を持つ方が出てくることも考えられる。さらに理解が深められるようにするべきではないか。過去をみても指定管理者の選定には複数者の応募がある。
- 事務局： 市の施設の管理運営事業者を決定するのが指定管理者選定委員会である。複数の応募があれば、各事業者の提案内容を委員が採点し、事業者を選定するのが役割である。審議会のような継続的に議事の審議を行うものではない。
- 委員： 審議会と状況が異なることの説明と合わせて変えてはどうか。
- 委員： 状況というより性格が異なるということではないか。他の審議会と異なり指定管理者を選定することが役割である。
- 委員： 性格という表現はよいと思う。「指定管理者制度の目的やメリットをわかりやすく市民に広報しつつ」というような文言を加えてはどうか。指定管理者制度について市民の皆さんの理解が深まれば、応募も増えてくるのではないかと思う。
- 委員： 今の意見によると、指定管理者制度をクローズアップしたものになるのか。
- 委員： 他の部分より、強調していただきたいということである。
- 委員： 指定管理者制度の概要などについて、分かりやすく広報に努めるといった表現にしてもいいと思う。
- 事務局： いただいたご意見のとおり、指定管理者の選定に限らず、公募の対象となる案件の内容をご理解いただくことについては、市がしっかりとやっていかななくてはならない。指定管理者の公募についても、まず指定管理者制度や役割を理解していただくことや、応募がないのは理解していただくための努力が足りないのではないかとのご意見も含め、案文の記載内容については検討させていただきたい。また、内容が理解されたうえで応募がなかったのかどうかは検証するべきではないかと思う。
- 会長： 委員からのご意見のあった案文の表現も踏まえて検討したい。
- 事務局： 本日の意見を踏まえた案文については、皆さんに改めてお示ししたい。
- 委員： 学校教育委基本計画については人が集まりやすい好事例として記載されており、前回の会議での意見が反映されていると思う。
- 会長： 全ての審議会でこのような手法を取り入れることは難しいかもしれないが、好事例として情報を共有してもらいたい。
- 委員： 審議会等委員の公募の冒頭に、数字での比較をしている部分は、指定管理者選定委員会以外はほぼ同様という表現にしたほうがよいと思うがどうか。
- 委員： 比較という表現ではなく、評価と言い表してもよいと思う。
- 事務局： 指定管理者選定委員会について述べた上で、案文を整理させていただき、皆さんにお示しした後、8月中に会長から市長へ答申していただく予定である。

以上